

平成28年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省28-42)

施策目標	42 情報化を推進する							担当部局名	総合政策局			作成責任者名	情報政策課長 岩城 宏幸 行政情報推進課長 和久屋 聡	
施策目標の概要及び達成すべき目標	国土交通省及び交通分野における国民生活・社会経済活動に重大な影響を及ぼすIT障害の発生を防ぐことにより国民生活・社会経済活動の安全を保つ。							施策目標の評価結果		政策体系上の位置付け	11 ICTの利活用及び技術研究開発の推進	政策評価実施予定時期	平成29年8月	
業績指標	初期値	目標値 設定年度	実績値					評価結果	目標値	目標年度	業績指標の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等			
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
139 国民生活・社会経済活動に重大な影響を及ぼすIT障害発生件数	0件	平成24年度	-	0件	1件	4件	3件		限りなくゼロ	毎年度	近年、政府機関や交通分野においてもITの利活用が急速に進展してきており、それに伴いIT障害発生リスクも高まってきている。そのため、豊かな国民生活の実現、並びに経済社会の活力の向上や持続的発展において、IT障害を確実に防止するための施策を行うことは極めて重要であると考えており、今後も継続的な取り組みが必要のため、国民生活・社会経済活動に重大な影響を及ぼすIT障害発生件数を限りなくゼロとすることを目標値として設定した。			
達成手段 (開始年度)	28年度 行政事業レビュー 事業番号	25年度 (百万円)	26年度 (百万円)	27年度 (百万円)	28年度 当初 予算額 (百万円)	達成手段の概要					関連する 業績指標 番号	達成手段の目標(28年度) (上段:アウトプット、下段:アウトカム)		
(1) 情報通信技術を活用した公共交通活性化の推進 (平成25年度)	474	10 (10)	10 (10)	11	-	情報通信技術(ICT)及びビッグデータを活用し、公共交通利用者の利用実態や地域生活者の潜在的な移動ニーズをきめ細かに把握・分析し、公共交通の活性化や新たな公共交通サービスの創出等、地域における公共交通サービスの向上を図り、マイカーから公共交通機関への利用のシフトを促進する。					-	(平成27年度をもって事業終了)		
(2) 都市行政情報データベース運営経費 (平成14年度)	475	4 (2)	4 (1)	4	4	行政や民間の諸活動の基盤となる土地利用規制や都市インフラに関する基礎的な情報である都市計画データを中心とした、都市行政に関する各種データを収集・整理・集約化し提供することで、地方公共団体等関係機関の業務の円滑な遂行や経済・社会の多様なニーズに対応した業務の高度化を図る。					-	都市計画現況調査のWEB入力対象自治体数(市町村) (H28年度活動見込:1,346) 都市計画現況調査の調査項目数84項目を維持する。		
施策の予算額・執行額	3,099 (2,787)	3,286 (3,054)	4,163	3,749	施策に関する内閣の重要政策 (施策方針演説等のうち主なもの)					世界最先端IT国家創造宣言(平成27年6月30日閣議決定)IV. 利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化 3. サイバーセキュリティ				
備考														